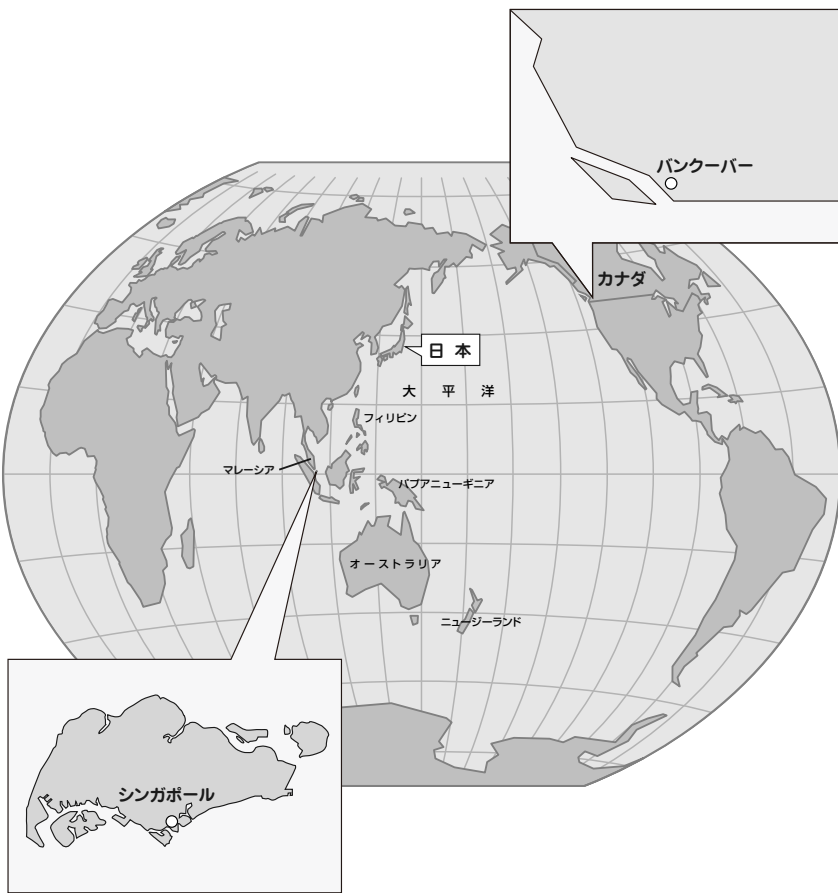


海外で得た貴重な 体験を報告

「小学生海外派遣事業」と「中学生海外生活体験事業」の報告会が九月二十二日、中央公民館本館でありました。子どもたちは、町長、町議会議員、教育委員などの前で、楽しかった思い出や貴重な体験を報告しました。



報告会では現地で撮った写真を使いながら、一人一人が、体験した苦労や学んできた文化、人々との交流について発表しました。

町では、国際感覚を身に付けた心豊かな子どもの育成や国際交流を目的として事業を行っています。

小学生海外派遣事業は「愛知県フレンドシップ継承交付金事業」の一環として行われ、今年で三回目です。町内四小学校から選ばれた六年生児童十五人が七月二十六日から七月三十一日までの六日間、シンガポールを訪れました。

今年は、五月に予定していたシンガポールのフェンシャン小学校児童を迎えることができませんでした。東日本大震災による影響で、先方からの申し出で中止となってしまいました。



した。昨年のように双方の交流ができなかったのはとても残念です。

中学生海外家庭生活体験事業は、今年で回を重ねること十七回。選ばれた三年生の生徒十人が八月十六日から八月二十五日までの十日間の日程で、カナダのバンクーバーを訪れました。

こちらは、二月にニュージーランドで大地震が発生したことにより、生徒の安全を考えて、訪問先をカナダに変更しました。その関係でファームステイを行うことはできなくなりましたが、その分ホームステイの日数が増え、ホストファミリーとの交流が充実したようです。

次ページ以降で、子どもたちによる報告書の一部を紹介します。